

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規__社（社名）、除外__社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期 2 Q	3,150,000株	27年3月期	3,150,000株
② 期末自己株式数	28年3月期 2 Q	211株	27年3月期	211株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期 2 Q	3,149,789株	27年3月期 2 Q	3,149,820株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行の財政・金融政策を背景に緩やかな回復基調にあるものの、円安の影響による輸入品価格の実質的な値上がりや原材料価格の上昇など、国内景気を下押しするリスクが存在することから、景気の先行きには依然不透明な状況が続いております。

食品飲料業界におきましては、平成27年4月1日施行の食品表示法のもと、消費者の自主的かつ合理的な商品選択の機会の確保を促す制度として新たに機能性表示食品制度が導入されました。幅広い食品に機能性表示が可能となり、新たな需要喚起を呼び起こしておりますが、国内市場の縮小化や円安等による食品原材料の高騰など、企業収益は厳しい状況が続いております。

当社グループは、「お客様に十分ご満足のゆく商品・サービスの提供」を品質方針として、安心かつ安定的な供給体制並びに品質管理体制を維持・強化するとともに、付加価値の高い新規商品の提案を積極的に行い、取扱品目の増加及び取引先の拡大に努めてまいりました。乳及び乳製品や飲料製品等の販売数量が減少したものの、茶葉類をはじめとする農産物及び同加工品が好調に推移したことなどにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は15,134,007千円（前年同期比1.8%増）となりました。販売活動にともなう諸経費が増加し、営業利益は184,859千円（前年同期比9.6%減）となりましたが、為替差益を計上したことから、経常利益は195,320千円（前年同期比3.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は126,337千円（前年同期比14.8%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

<卸売事業>

飲料市場においては、一部の特定保健飲料が好調に推移しているものの、小売優位の情勢や原材料高騰もあり、継続的な売上規模と利益確保の両立が難しい局面を迎えており、厳しい経営環境が続いております。猛暑に始まった夏場の天候も8月下旬以降は気温が低下するなど、ことのほか出荷数量の伸びは鈍化しました。

このような状況下、当社グループは取引先の多様なニーズに対応すべく、国内外から安全で安心な原材料・資材を確保し、安定供給体制の維持に努め、取引先の拡大と利益率改善を図ってまいりました。糖類等の食品原材料や殺菌乳の販売が低調に推移したものの、烏龍茶・ジャスミン茶等の茶葉類、濾過助剤をはじめとする資材や環境浄化システム等の販売が好調に推移したことにより、売上高は14,580,815千円（前年同期比1.3%増）となりました。

<製造販売事業>

美味しさと素材にこだわった高品質で体にやさしいアイスクリームの開発に注力し、製造技術の向上、品質管理の強化に努め、取引先のニーズに合った商品を提供してまいりました。当連結会計年度より開始した菓子メーカー向けのPB商品は好調に推移したものの、既存取引先への販売数量が低迷し、売上高は309,975千円（前年同期比3.7%減）となりました。

<その他>

その他においては、コンビニエンス事業を大手町地区で展開しておりますが、集客数が増加したことや店舗運営の基本であるSQC（サービス、クオリティ、クリンネス）のレベルアップに注力し、店舗運営の効率化に努めたことから収益が伸長し、売上高は542,311千円（前年同期比12.7%増）となりました。

（注）セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,345,816千円増加し、7,499,802千円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金、未収入金の増加によるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べ9,627千円増加し、1,189,093千円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,335,443千円増加し、8,688,895千円となりました。

② 負債の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,328,792千円増加し、5,581,854千円となりました。主な要因は、買掛金及び未払金の増加によるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べ2,257千円増加し、1,162,958千円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の負債は前連結会計年度末に比べ1,331,050千円増加し、6,744,812千円となりました。

③ 純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ24,393千円増加し、1,944,082千円となりました。主な要因は利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年5月12日に発表いたしました数値と変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,331,879	1,207,328
受取手形及び売掛金	3,185,055	3,931,321
商品及び製品	1,039,638	1,129,228
未着商品	308,983	521,172
原材料及び貯蔵品	26,066	23,828
未収入金	103,698	552,426
繰延税金資産	21,768	35,721
その他	141,294	103,574
貸倒引当金	△4,400	△4,800
流動資産合計	6,153,986	7,499,802
固定資産		
有形固定資産	414,928	437,099
無形固定資産	94,024	84,589
投資その他の資産	670,512	667,404
固定資産合計	1,179,465	1,189,093
資産合計	7,333,451	8,688,895
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,272,872	3,865,041
1年内返済予定の長期借入金	517,477	579,492
未払金	262,826	923,859
未払法人税等	7,465	81,516
賞与引当金	32,560	41,047
その他	159,858	90,897
流動負債合計	4,253,061	5,581,854
固定負債		
長期借入金	1,074,789	1,047,543
資産除去債務	6,044	6,095
その他	79,866	109,319
固定負債合計	1,160,700	1,162,958
負債合計	5,413,762	6,744,812
純資産の部		
株主資本		
資本金	363,387	363,387
資本剰余金	288,387	288,387
利益剰余金	1,036,541	1,046,544
自己株式	△129	△129
株主資本合計	1,688,186	1,698,189
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	85,506	82,384
繰延ヘッジ損益	2,991	△2,701
為替換算調整勘定	41,488	41,167
その他の包括利益累計額合計	129,986	120,850
非支配株主持分	101,516	125,042
純資産合計	1,919,689	1,944,082
負債純資産合計	7,333,451	8,688,895

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	14,863,710	15,134,007
売上原価	13,543,169	13,802,304
売上総利益	1,320,540	1,331,703
販売費及び一般管理費	1,115,965	1,146,844
営業利益	204,575	184,859
営業外収益		
受取配当金	3,548	3,725
為替差益	—	7,766
受取手数料	3,222	3,222
受取補償金	1,321	986
その他	995	1,509
営業外収益合計	9,087	17,209
営業外費用		
支払利息	6,715	5,506
為替差損	12,084	—
支払補償費	4,562	1,021
その他	808	220
営業外費用合計	24,170	6,747
経常利益	189,491	195,320
税金等調整前四半期純利益	189,491	195,320
法人税、住民税及び事業税	73,064	77,944
法人税等調整額	△2,089	△10,931
法人税等合計	70,975	67,012
四半期純利益	118,516	128,308
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,489	1,971
親会社株主に帰属する四半期純利益	110,027	126,337

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	118,516	128,308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,431	△3,121
繰延ヘッジ損益	294	△5,693
為替換算調整勘定	12,901	△606
その他の包括利益合計	20,626	△9,421
四半期包括利益	139,143	118,887
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	125,782	117,200
非支配株主に係る四半期包括利益	13,360	1,686

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	189,491	195,320
減価償却費	34,315	38,564
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	200	399
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,360	8,486
受取利息及び受取配当金	△3,596	△3,777
支払利息	6,715	5,506
為替差損益 (△は益)	△4,686	△209
売上債権の増減額 (△は増加)	△361,194	△750,647
たな卸資産の増減額 (△は増加)	251,294	△300,078
未収入金の増減額 (△は増加)	△25,728	△448,861
前渡金の増減額 (△は増加)	△160,488	59,804
仕入債務の増減額 (△は減少)	360,655	596,691
未払金の増減額 (△は減少)	△447,989	666,201
未払消費税等の増減額 (△は減少)	26,457	△19,777
前受金の増減額 (△は減少)	56,378	△57,019
その他	△112	△3,795
小計	△70,927	△13,190
利息及び配当金の受取額	3,596	3,777
利息の支払額	△6,903	△6,430
法人税等の支払額	△107,363	△25,405
営業活動によるキャッシュ・フロー	△181,597	△41,249
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,053	△16,013
無形固定資産の取得による支出	△950	△3,880
ゴルフ会員権の取得による支出	△52,000	△650
差入保証金の差入による支出	△234	△1,304
差入保証金の回収による収入	200	300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66,037	△21,548
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	800,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△192,275	△265,231
リース債務の返済による支出	△2,711	△2,610
配当金の支払額	△93,692	△94,037
非支配株主への配当金の支払額	△21,840	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	489,479	△61,878
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,826	125
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	252,671	△124,551
現金及び現金同等物の期首残高	987,946	1,331,879
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	166,547	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,407,165	1,207,328

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,260,790	121,549	14,382,340	481,370	14,863,710	—	14,863,710
セグメント間の内部 売上高又は振替高	135,817	200,214	336,031	—	336,031	△336,031	—
計	14,396,608	321,763	14,718,371	481,370	15,199,742	△336,031	14,863,710
セグメント利益又は損 失(△)	189,523	16,404	205,928	△4,493	201,434	3,140	204,575

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額3,140千円は、セグメント間取引消去3,140千円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	卸売事業	製造販売 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,482,312	109,383	14,591,696	542,311	15,134,007	—	15,134,007
セグメント間の内部 売上高又は振替高	98,503	200,592	299,095	—	299,095	△299,095	—
計	14,580,815	309,975	14,890,791	542,311	15,433,102	△299,095	15,134,007
セグメント利益	160,940	7,957	168,898	11,803	180,701	4,157	184,859

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニエンスストア小売業を営んでおります。

2. セグメント利益の調整額4,157千円は、セグメント間取引消去4,157千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。